

- 日産自動車、「セレナ」及びスズキOEM「ランディ」のCVTに不具合があるとしてリコール 12年7月3日～13年12月2日に生産した11万1546台
CVTの制御プログラムが不適切な為、変速機構であるスチールベルトに傷がつくものがあり、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、スチールベルトが破損し走行不能に至る恐れがある。
- トヨタ自動車、「ダイナ」「トヨエース」の電気配線に不具合があるとしてリコール 16年9月14日～20年1月9日に生産した3万8657台
ヘッドランプ後方にある電機配線の配策指示が不適切な為、エアコン用ホース金口と接触し、走行時の振動により配線の被覆が損傷することがある。そのため、最悪の場合、ショートしてエンストする恐れがある。
- 日野自動車、「デュトロ」・トヨタOEM「ダイナ200」「ダイナ300」「ダイナ400」「トヨエースG25」「トヨエースG35」「トヨエースG45」の自動変速機制御プログラムに不具合があるとしてリコール 17年4月27日～19年9月25日に生産した2万4065台
Dレンジで停車中にアイドルアップ制御が働くと前進用クラッチが半クラッチ状態となることがある。その為、クラッチが異常摩耗してオイル吸入口のストレーナー部に摩耗粉が詰まることで自動変速機内の油圧が低下。警告灯が点灯するとともに走行できなくなる恐れがある。
- メルセデス・ベンツ日本、「Eクラス」等65車種のスライディングルーフが脱落する恐れがあるとしてリコール 02年6月29日～10年7月23日に輸入した5万8021台
スライディングルーフのガラスパネルにおいて、製造工程での下地処理が不適切な為、接着強度が不十分なものがある。その為、ガラスパネルに浮きが発生し、最悪の場合、走行風により脱落して、後続車両の妨げになる恐れがある。
- メルセデス・ベンツ日本、「Sクラス」等7車種について、エンジンオイルが漏れる恐れがあるとしてリコール 17年7月21日～18年12月19日に輸入した2115台
エンジンのクロージャープラグにて、耐久性が不足している為、エンジンオイルの油圧により破損することがある。その為、エンジンオイルが漏れ、最悪の場合、エンジンが損傷する。または、エンジンオイルが路上に流出し後続車両も妨げになる恐れがある。
- 三菱ふそうトラック・バス、「ふそうスーパーグレート」の燃料タンクに不具合があるとしてリコール 17年10月6日～19年10月31日に生産した1752台
400リットルのアルミニウム製燃料タンクを搭載した大型トラックにて、燃料タンクの強度が不足している為、走行時の振動によりタンクの溶接部に亀裂が生じるものがある。その為、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進展して燃料が漏れる恐れがある。